

広報

ただみ

4

2011 月号

No. 491

平成23年4月10日



東北関東大震災・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3

町芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞・町民文芸コンクール表彰
・・・4～8

只見中学校卒業証書授与式 他・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

平成23年度只見町予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10～11

町の話題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12～13

今月の表紙

只見中学校の卒業生は、3年間の思い出を胸に恩師と別れの握手を交わし学び舎を巣立った。【関連記事9ページ】

最大級の地震発生 東大震災～

時46分頃、三陸沖を震
度9.0の海溝型地震「平
沖地震」が発生し、宮
記録。この地震に伴う大
福島県、茨城県など三陸
被害が発生しました。



ボランティアの方々による炊き出しは、
只見・朝日・明和地区で行なわれた

気象庁の発表によるマグニチュード9.0は地震の規模としては大正12年の関東大地震（関東大震災）のマグニチュード7.9や平成6年の北海道東方沖地震のマグニチュード8.2を上回る日本国内観測史上最大で、世界でも4番目の大規模な地震となりました。この地震により発生した想像を絶する大津波が、東北から関東の太平洋側沿岸を襲い、福島県でも浜通り地方の市町村に壊滅的な被害をもたらしました。

この地震による人的被害の全容はまだまだ不明の状況ですが、3月31日10時現在の警察庁が発表した情報では、死者1万1千人以上、行方不明者1万6千人以上、負傷者2千8百人以上と信じられないほどの被害となっています。

只見町では、地震発生の日に町内パトロールを行い、消防団の連絡体制を整える緊急会議も開きました。翌日からはボランティアの方々を中心に被災地に届けるための炊き出しや毛布の提供を町民に呼び掛けるなどの支援活動を開始、3月15日の午前9時には、東北関東大震災対

震災 Information

●縁故避難者への支援

避難者を受け入れられた家庭へ物資を提供いたします。

- 配付物資・・・毛布、衣類等（町民からの提供物資）
- 配付場所・・・役場本庁、朝日・明和地区センター
- 配付期日・・・4月1日から当分の間（土曜、日曜、祝日を除く）
- 配付時間・・・午前8時30分～午後5時まで

●避難者の町内学校への就学手続き

只見町内の小学校、中学校及び只見高校に就学を希望される場合は、お問い合わせください。

- 小学校、中学校は・・・教育委員会 電話82-5320
- 只見高等学校は・・・県立只見高校 電話82-2148

●避難者の町内保育所への入所手続き

只見町内の保育所に入所を希望される場合は、お問い合わせください。

- 保健福祉課福祉班 電話84-7010 で対応します

●保健・医療・福祉に関する相談窓口は・・・

- 保健福祉課 電話84-7010 となります

●震災対策に関する総合相談窓口は・・・

- 町民生活課内「東北関東大震災対策本部 電話82-5100」です



毛布を届ける町民の方

日本国内観測史上 ～東北関東

平成23年3月11日14時46分
震源地とするマグニチュード9.0
平成23年東北地方太平洋沖地震
城県北部では震度7を記録
津波によって岩手県、福島県
沿岸の集落では壊滅的な被害



町内の小・中学校で大震災の説明をする
町教育委員会の職員（3月14日：只見小）

策本部を設置しました。
対策本部では、情報収集、町民への情報提供、避難所の開設、支援物資の受け入れや被災地への提供など様々な震災への対応を円滑に行うための業務に当たっています。只見町でも震災の影響で生活物資の流通が滞り、スーパーなどの食料品は激減、さらにガソリンなどの燃料も在庫切れという状況に陥った時期もありました。そのような深刻な事態のなかでも、町民の方からは毛布や衣類、食糧、生活用品などが届けられたり、炊き出しを中心とした支援活動にも大勢の方がボランティアで協力いただきました。町全体が一体となり被災地や避難者の支援活動に全力で取り組みました。

物資を届けていただいた皆様、そして、ボランティア活動にご協力いただいた皆様、様々な支援をいただいた皆様、ありがとうございます。今後もよろしく願います。

3月31日現在の町内での避難者受け入れ状況や被災地への支援状況をお知らせいたします。

なお、只見町での震度は、4弱で、観測震度は3.8でした。

義援金のご協力を
被災地救援のため皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

▽町民生活課と朝日、明和の両地区センターで受け付けております。

▽受付期間は、4月28日までです。義援金の額はご協力いただける範囲で結構です。ご無理のないようお願いいたします。

■只見町における避難者【3月31日現在】

- ▶▶▶ 避難所（朝日地区センター）への受け入れ・・・4名
- ▶▶▶ 縁故避難者の受け入れ
町内全域 182名
（県外8名・浜通り94名・中通りほか80名）
- ▶▶▶ 季の郷湯ら里への受け入れ・・・14名

■只見町における支援状況【3月31日現在】

- ▶▶▶ **物資支援**
テント・・・・・・・・・・・・・・・・・・3張
毛布・・・・・・・・・・・・・・・・・・約2,000枚
水タンク2t・・・・・・・・・・・・・・・・1個
水タンク0.5t・・・・・・・・・・・・・・2個
携行缶20ℓ・・・・・・・・・・・・・・40個
を被災地へ提供
- ▶▶▶ **人的支援**
被災地建物危険度判定のため職員1名派遣
（中島村へ4日間）
- ▶▶▶ **炊き出し支援**
人員（各地区婦人会、日赤奉仕団、民生児童委員 ほか）・・・延べ1,055名
おにぎり・・・・・・・・・・・・・・・・53,644個
パン・・・・・・・・・・・・・・・・384個
を避難所などに提供



ガソリンスタンドで給油を待つ自動車の列（3月21日：福井）

豊かな表現力・日々の努力

優秀な選手や作品を表彰

町芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞 町民文芸コンクール 表彰式

平成22年度只見町教育委員会芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞表彰式と、第34回只見町民文芸コンクール表彰式が、3月5日に季の郷湯らりで行われました。



入賞者全員に表彰状が手渡されました

部門(作文・詩・短歌・俳句)26
5点の応募作品の中から審査の結果選ばれた、優秀作品の入賞者が、表彰を受けました。

齋藤修一教育長は、「積み上げてきた力をさらに研鑽し伸ばしてほしい。今回取り組んだすばらしさや楽しさを多くの人に知らせ伝えていくことが大切。この活動が文化の広がりにつながり、10年後にはすばらしい人に出会えます。ぜひ実行してください」とあいさつをしました。

町民文芸コンクールの講評で角田行雄文芸コンクール作文部門審査委員長は、「物事には苦しみや悩みもあります。この部分の心の動きが作文には必要で自分の気持ちや考えをもっと表現してみてください。来年も良い作品に出合えることを期待しています」と述べました。

表彰式では、はじめに芸術文化賞を受賞された1名と1校、そしてスポーツ優秀選手賞に輝いた2名と2団体が表彰されました。続いて町民文芸コンクール4

町民文芸コンクールの各部門で特選に輝いた作品をご紹介します。

短歌部門



小学校下学年の部特選

只見小1年 きつ かれんさん

なつやすみ

すいかをたべたよ ばあちゃんち
なぜだかつまい おかあさんもそう



小学校上学年の部特選

明和小6年 河原田 美咲さん

始業式

今日から私も 六年生
心がはじける 最高の日に



高校生の部特選

只見高2年 一条 さやかさん

進路決め

いろいろ調べて みて気付く
意外と自分は 自分を知らない



一般の部特選

只見 清野 アサエさん

若き日の

一途な思ひに 北遠く
求めし原野の 処分に迷ふ



作文部門 小学校下学年の部

一本を取るまで

只見小3年 鈴木 伶菜さん



私は、夏休みが始まってすぐの七月二十五日に、剣道の坂下大会に出場しました。私は、一年生の時に剣道を始めましたが、大会で一回も勝つたことがありません。だから、今回の大会では、一本取るか勝つてみたいという気持ちが強くありました。

しあいが近くなると、れん習がきびしくなります。とくに、坂下大会前のれん習は、暑いのでつらいです。でも、けい古をがんばった後は、自分が強くなった気がするし、すつきりとして気持ちも引きしまります。

いよいよ大会の日、私たち剣道部は、朝早く集合して、大会の会場へ向かいました。会場へ着くと、たくさんの方の人たちが来ていて、もう、れん習をしていますが、私は、みんな強そうに見えて、少しこわくなってしまいました。れん習と開会式が終わって、いよいよこじんせんの始まりです。私のたいせん相手は、私より、せが高かったのので、「強そうだな。」と思いました。

「はじめ。」

「はじめ。」

「はじめ。」

「はじめ。」

「はじめ。」

した。相手がせめてきた時、私は、よけて後へ下がってしまいました。私は、あつという間に二本の面を取られて負けてしまいました。私は、「自分はまだまだだ。」と思いきや、くよくよ、なみだが出てきました。


こじんせんが終わると次は、だんたいせんです。女子は、三人でたたかいました。私は、二番目の中けんでした。相手を見ると、また「強そうだな。」と思いました。こじんせんの時は、気持ちが弱くなって、後ろへ下がり負けてしまったので、今度はそ前へ出ようと思いました。

「一本目です。しんぱんの、

「はじめ。」

「はじめ。」

俳句部門



小学校下学年の部特選
朝日小2年 ほり金 ふうかさん

赤とんぼ
わたしのゆびに
とまるかな



小学校上学年の部特選
明和小6年 菅家 成美さん

沢の水
ブナを育てる
恵みの森




中学生の部特選
只見中3年 横田 開さん

秋の夜に
月てらされ
ランニング



高校生の部特選
只見高1年 三瓶 志門さん

葉桜が
僕らの夏を
教えてる



一般の部特選
黒谷 守山 リウ「さん

秋の川
兵士送りし
橋に佇つ



作文部門
小学校上学年の部

心落ち着く只見町

只見小5年 目黒 史也くん



ぼくは、テレビを見ながら、いつもいろいろ考えています。特に、ぼくが住んでいる只見町では、絶対に起こらないような事件のニュースを聞くと、家族でも話題になり、いろいろ話します。よくお母さんは、

「自分が子供のころは、こんなことはなかったのに。」と言います。こんなことは、つまり、人の命を簡単にうばってしまうということ

です。まったく知らない人間が、まったく知らない人間を殺してしまう事件も少なくありません。けいさつや弁ご士が、どうして殺してしまっただのか理由を聞くと、「だれでもよかった。」とか、「頭に来たから。」「むしやくしやした。」というよう

な無責任なものばかりです。ぼくには、理解できません。まったくくしみやうらみもないのに、どうして人を殺してしまえるの

だろうと、ぼくは、テレビを見ながら、いつもいろいろ考えています。特に、ぼくが住んでいる只見町では、絶対に起こらないような事件のニュースを聞くと、家族でも話題になり、いろいろ話します。よくお母さんは、

「どうして自分ばかりおこられなくちゃいけないんだろう。」と、頭に來ます。頭に來ると、みんなが悪く思えて文句を言ったり物に当たったりすることもありません。後で、落ち着いてから考えると、自分が悪かったと分かることも、こうふんしていると

自己中心的に考えてしまい、気づくことができません。気づかせてくれるのは、考える時間をくれるお母さんや先生、そして、たくさんの友達です。きつと、人を傷つけてしまったり殺してしまったりする人は、心を落ち着

けることができないのではないかと思います。何か自分の思うようにいかなかった時に、じつくりと考えるようや場所がなかったり、一緒に考えてくれる親しい友達がいなかったりするのかもしれない。案外、ぼくのように、友達と話をすることが多いと気持ち晴れてほがらかになるのではないかと思います。ぼくも、ふだんは、特に感じませんが、人とたくさんのつながりがあるということ、とても大事な

点只見町は、いつでも、どこにいても、気軽に声をかけてくれるやさしい人ばかりなので、ぼくは、とてもめぐまれているなあと感じることがあります。

それだけではなく、只見の自然もぼくにとっては大事です。いろいろな生き物や草などを見ていると自然と心が落ち着くことが多いからです。ぼくは、よく、お母さんの生まれた家の近くにある黒谷川で遊ぶことがあります。とても冷たくてきれいな川です。石で水切りをして遊んでいると時間が経つことやいやなことを忘れてしまいます。水の中の石を取って川虫を観察することにも、むちゅうになります。

また、静かで、緑豊かなブナの森に入って、すみ切ったおいしい空気を吸えば、心がすうつと落ち着きます。そこで生きている生き物達も同じ思いだろうと考えるともっと幸せになります。田んぼの黄金色の稲穂を見ても心が落ち着くし、そのお米が、お母さんの手料理でおいしく食べ

ぼくの心をすつきりときれいにしてくれているような気がします。

ぼくは、これから大人に近づいていきます。きつと、やりたいことや夢を見つけて、どんどん未来へ向かって変わっていくと思います。考えたくはありませんが、人を傷つけるようないやな事件は、この日本からなくな

らなにかもしれません。それでも、只見町のやさしさにあふれた人と人のつながりや、豊かな自然は、今のまま変わらずに残ってほしいと思います。いえ、自分達の未来を守るために、ぼくらが努力して残していかなければならないのではないかと思います。



◀表彰を受ける目黒くん

第34回 おめでとう

町民文芸コンクール入賞者

(敬称略)

【作文部門】

■小学校下学年の部

◎特選 鈴木 伶菜(只見小3年)
▽入選 につくたいよう(只見小1年)

▽佳作 わたなべゆうひ(朝日小1年)
いがらしせな(只見小1年)

さかいかなえ(只見小1年)
鈴木凜太郎(只見小3年)

▽入選 飯塚 奈央(只見中2年)
渡部 美咲(只見中3年)

■高校生の部

▽入選 清野 勇斗(只見高1年)

■一般の部

▽入選 角田しつえ(小林)

▽佳作 関谷香央里(只見高3年)
五十嵐恵梨(只見高3年)

■一般の部

◎特選 清野アサエ(只見)

▽入選 新國由紀子(只見)

目黒 富子(黒谷)

船木トモ子(黒谷)

三瓶 忠平(大倉)

齋藤チヒロ(亀岡)

▽佳作 馬場 康平(只見中2年)
菅家いつみ(只見中1年)
馬場 美月(只見中2年)

■高校生の部

◎特選 三瓶 志門(只見高1年)

▽入選 渡部 宏章(只見高2年)

小林さつき(只見高3年)

鈴木 優太(只見高3年)

矢澤 明宏(只見高1年)

山井 雅美(只見高2年)

渡部 安菜(西郷養学校1年)

■小学校上学年の部

◎特選 目黒 史也(只見小5年)

▽入選 栗城 涼花(明和小6年)

▽佳作 酒井 結咲(只見小5年)

菅家 雄矢(只見小6年)

菅家ともみ(朝日小6年)

渡部 優花(朝日小6年)

【短歌部門】

■小学校下学年の部

◎特選 きつかれん(只見小1年)

▽入選 さかいかなえ(只見小1年)

▽佳作 酒井 咲星(只見小2年)

関谷恵里香(只見小3年)

■小学校下学年の部

◎特選 ほり金ふうか(朝日小2年)

▽入選 はそめしゅうと(只見小1年)

横山 大(朝日小3年)

おのゆづき(只見小1年)

菅家 夏芽(只見小3年)

菅家 尚真(朝日小3年)

■一般の部

◎特選 守山リウコ(黒谷)

▽入選 五十嵐邦男(只見)

三瓶タカキ(黒谷)

目黒 富子(黒谷)

吉田 六郎(只見)

吉津 佑(只見)

船木トモ子(黒谷)

■中学生の部

▽入選 吉津 千晶(只見中1年)

▽佳作 日野 涼(只見中1年)

藤田 百生(只見中3年)

■小学校上学年の部

◎特選 河原田美咲(明和小6年)

▽入選 菅家 雄矢(只見小6年)

酒井 雪音(朝日小5年)

五十嵐 蓮(只見小5年)

菅家 琉生(明和小6年)

■小学校上学年の部

◎特選 菅家 成美(明和小6年)

▽入選 大竹 涼華(只見小4年)

高橋 涼花(明和小5年)

菊地 萌花(明和小6年)

酒井香菜子(只見小5年)

馬場 麻綾(只見小6年)

吉津 万尋(朝日小4年)

梁取 水咲(明和小5年)

【詩部門】

■小学校下学年の部

▽入選 すず木りょう(只見小1年)

につくたいよう(只見小1年)

▽佳作 鈴木 萌(只見小3年)

■中学生の部

▽入選 柳下 一貴(只見中2年)

▽佳作 増田 奈歩(只見中2年)

藤田 百生(只見中3年)

■小学校上学年の部

▽入選 鈴木 翔(只見小5年)

五十嵐夏希(只見小5年)

▽佳作 渡部 めい(朝日小6年)

■高校生の部

◎特選 一条さやか(只見高2年)

▽入選 目黒結衣香(只見高2年)

星 満里奈(只見高2年)

■中学生の部

◎特選 横田 開(只見中3年)

▽入選 山内 結(只見中1年)



▲鈴木伶菜さん(小学校下学年の部、作文特選)

おめでとう

平成22年度芸術文化賞 スポーツ優秀選手賞受賞者

(敬称略)



スポーツ優秀選手賞を受賞した只見高校女子卓球部2年生の皆さん

【芸術文化賞受賞者】

◎菅家ともみ(朝日小6年)

|| 第3回税に関する絵はがき
コンクール県特選

◎只見中学校

(代表者:飯塚かすみ・飯塚奈央)

|| 福島県小・中学校音楽祭
(第3部創作)学校賞

【スポーツ優秀選手賞受賞者】

◎目黒郷(只見中2年)

|| 第53回福島県中学校体育大会
スキー競技大会男子回転第1位

◎川合祥太郎(聖光学院高1年)

|| 第62回秋季東北地区高等学校
野球福島県大会第1位

◎明和スポーツ少年団6~2年

生(栗城涼花・馬場楓・河原田美咲・高橋涼花・角田妃菜子・若林愛梨・角田真央・山内花・高橋はるか・菊地みずき・山内理子・梁取結花)

|| うつくしまふくしま第33回福

島県小学生バレーボール選手
権大会会津大会第1位

◎只見高等学校女子卓球部2年

生(新国真理恵・鈴木亜美・五十嵐花奈恵・長谷部千晶・吉津真奈)

|| 平成22年度福島県高等学校新

人体育大会卓球競技会津地区
大会女子団体第1位

各賞の表彰基準

芸術文化賞の表彰基準は、全県のコンクール等で最上位、東北地方のコンクール等で上位3位相当以内、全国のコンクール等で上位5位相当以内です。

スポーツ優秀選手賞の表彰基準は、全会津の大会で1位、全県の大会で3位以内、東北地方およびそれに準ずる大会で6位以内、全国の大会で10位以内です。



▲各賞を受賞された皆さん「おめでとうございます」

輝く思い出を胸に新たなステップ

只見中学校第4回卒業証書授与式



▲卒業証書を手にも会場を後にする卒業生

春の訪れが待ち遠しい3月11日、只見中学校の第4回卒業証書授与式が、同校体育館で厳粛に行われました。

3年間の輝かしい思い出を胸に只見中を巣立つ45名の卒業生一人一人に、吉津政一只見中学校長から卒業証書が手渡されました。

吉津校長は、「今まで学んできた力を惜しみなく発揮し、目標に向かって進んでいくことを願っています」と式辞を述べました。また、在校生送辞で柳下一貴さんは「先輩方が築いた伝統をしつかり受け継ぎ頑張っていくことを誓い

ます。先輩方も学んだ力を存分に発揮し活躍してください」と述べました。次に、卒業生答辞で五十嵐浩佑さんが「学校生活で築いた友達との信頼関係は一生の宝物です。この仲間がいればつらいことも乗り越えられます。先生の教えを胸に自分で道を切り開き歩んでいきます。ありがとうございます」と述べました。最後に、卒業生や在校生が式歌の「旅立ちの日に」などを合唱し、別れを惜しむ卒業生のなかには涙を流す生徒も見られました。卒業生の皆さん、おめでとうございます。

6年間の思い出よみがえり涙

町内小学校卒業証書授与式

春が遠ざかるような雪が降りそそいだ3月23日、只見・朝日・明和の各小学校では卒業証書授与式が行われました。

朝日小学校では、6年間の全課程を修了した15名の児童に、佐藤雅義朝日小学校長から卒業証書が手渡され、受け取った卒業生は将来どんな人になりたいかステージで発表し、それぞれの目標達成に向けて目を輝かせていました。

佐藤校長は、「夢は叶えるもの。そのためには努力が必要。諦め

ることなく何度も挑戦することが大切。継続は力なり、自信と誇りを持って歩んでください。自立した立派な大人になることを望んでいます」と式辞を述べました。

最後の別れのことばでは、15名の卒業生が先生や在校生、お父さんやお母さんに涙を流しながら、6年間見守り育ててくれた感謝の気持ちを伝えました。

各小学校を卒業された皆さん、おめでとうございます。中学校でも頑張ってください。

小学校でも頑張ります

町内保育所修了式



▲4月に只見小学校へ入学する5名の保育所児

町内の只見・朝日・明和の各保育所では3月26日に修了式が行われました。

只見保育所では、矢沢明伸保健福祉課長が年長組の保育所児5名に一人一人メッセージを贈り保育証書を手渡すと、元気に受け取っていました。

矢沢保健福祉課長はあいさつで「4月からは小学校の1年生です。学校の先生やお友だちみんなが待っています。勉強や運動、いろんなことを頑張ってください」と述べました。

町内の新1年生の皆さん、小学校でも思いっきり体を動かして大きく成長してください。みんなが応援しています。



▲別れのことばを述べる15名の卒業生

只見町の予算です

◆厳しい財源の有効活用に向けて
重点的・効率的な事業展開を

只見町の平成二十三年度予算が決定しました。町税収入・地方交付税等の推移や国・県からの補助金の配分状況を踏まえ、只見町行政改革プログラム第二期を着実に実行しながら経常的経費を極力抑制するとともに、「第六次只見町振興計画」に基づきまちづくり五つの目標に向け、同計画の二十三年度実施計画掲載事業を中心として、財源の重点的かつ効率的な配分を行い、本町の課題解決・町勢進展につながる事業展開を推進します。

◆一般会計 歳入

予算の内容を見てみましょう。歳入のトップは、「依存財源」（国や県から入るお金）に含まれる地方交付税で、歳入全体の四八・一％を占め、国税の別枠加算等により前年度に比べて四、〇〇〇万円の増額を見込んでいます。また、「自主財源」（町が独自に確保できるお金）では、町税が歳入全体の二二・八％で、前年度に比べて一、五七三万六千円の減額となり、厳しい予算編成を余儀なくされています。

◆一般会計 歳出

歳出は、公債費の占める割合が一八・四％と最も高くなっています。これは比較的高率・多額な借金を繰上償還する費用が一、九億円余り含まれているためです。次に総務費の占める割合が一六・六％となっており、昨年度の電算システム等更新事業や基金積立事業の完了などにより昨年比一三・三％の減となっています。

続いて、民生費、衛生費、農林水産業費、教育費、商工費、土木費、消防費の順になっています。商工費の増は蒲生岳登山口駐車場造成事業をはじめとする各種事業費の増によるもの、土木費の増は町道朝日学校大畑線改良事業に伴う物件移転補償などの増によるものです。また教育費の減は小学校等施設整備事業の完了に伴うもの、農林水産業費の減は県営ただみ西中山間地域総合整備事業の完了によるものが主な要因となっています。

■歳入

(単位：千円)

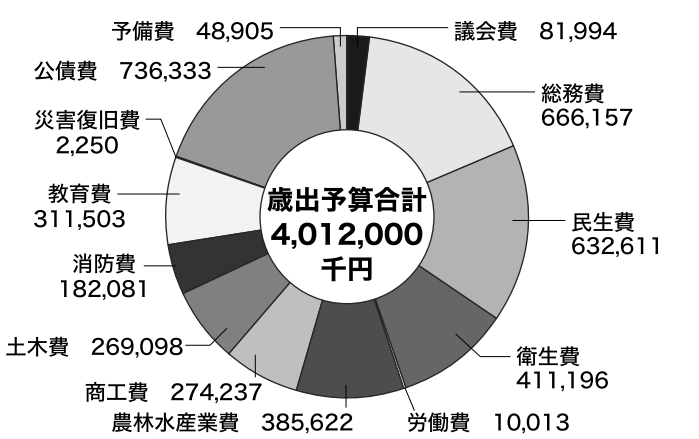
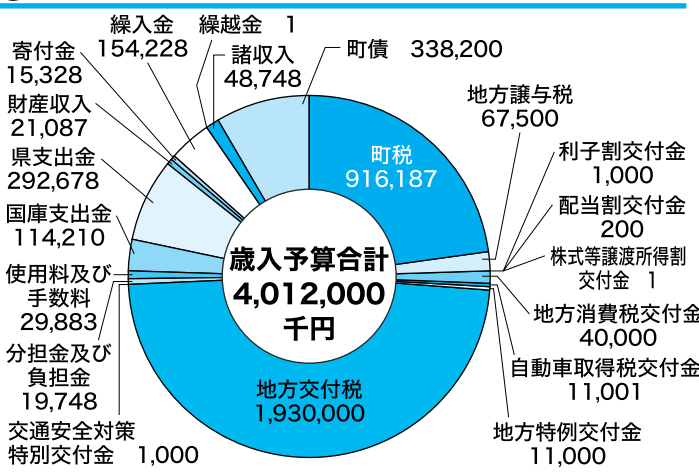
項目	23年度	構成比	22年度	増減率
町税	916,187	22.8%	931,923	-1.7%
地方譲与税	67,500	1.7%	67,500	0.0%
利子割交付金	1,000	0.0%	1,000	0.0%
配当割交付金	200	0.0%	200	0.0%
株式等譲渡所得割交付金	1	0.0%	1	0.0%
地方消費税交付金	40,000	1.1%	40,000	0.0%
自動車取得税交付金	11,001	0.3%	15,601	-29.5%
地方特例交付金	11,000	0.3%	11,000	0.0%
地方交付税	1,930,000	48.1%	1,890,000	2.1%
交通安全対策特別交付金	1,000	0.0%	1,000	0.0%
分担金及び負担金	19,748	0.5%	24,541	-19.5%
使用料及び手数料	29,883	0.7%	30,380	-1.6%
国庫支出金	114,210	2.8%	122,279	-6.6%
県支出金	292,678	7.4%	325,010	-9.9%
財産収入	21,087	0.5%	22,049	-4.4%
寄付金	15,328	0.4%	3,002	410.6%
繰入金	154,228	3.8%	30,611	403.8%
繰越金	1	0.0%	1	0.0%
諸収入	48,748	1.2%	31,002	57.2%
町債	338,200	8.4%	473,900	-28.6%
歳入合計	4,012,000	100.0%	4,021,000	-0.2%

■歳出

(単位：千円)

項目	23年度	構成比	22年度	増減率
議会費	81,994	2.0%	61,695	32.9%
総務費	666,157	16.6%	768,704	-13.3%
民生費	632,611	15.9%	581,883	8.7%
衛生費	411,196	10.2%	375,190	9.6%
労働費	10,013	0.2%	10,013	0.0%
農林水産業費	385,622	9.6%	410,100	-6.0%
商工費	274,237	6.8%	209,831	30.7%
土木費	269,098	6.7%	244,482	10.1%
消防費	182,081	4.5%	188,692	-3.5%
教育費	311,503	7.8%	435,124	-28.4%
災害復旧費	2,250	0.1%	1,050	114.3%
公債費	736,333	18.4%	693,320	6.2%
予備費	48,905	1.2%	40,916	19.5%
歳出合計	4,012,000	100.0%	4,021,000	-0.2%

1,200万円



平成23年度の主な事業

■住民と行政が協働するまちづくり

- 集落・地区センターなど住民交流を主体とした地域づくり
 - 1,551万円 まちづくり推進事業(3地区センター)
 - 450万円 町づくり事業補助金(3地区センター)
 - 120万円 集落元気づくり事業交付金(3地区センター)
- 総合的な土地利用・交通体系の確立
 - 2,068万円 新多目的交通システム運営補助金
 - 1,232万円 地域公共交通運行事業

■住民と行政が協働するまちづくり

- 自然保護意識の醸成
 - 132万円 住宅用太陽光発電システム設置モデル事業
- 雪と共存するまちづくり
 - 9,645万円 町道・歩道除排雪経費
 - 350万円 除雪支援事業給付費
 - 1,250万円 雪まつり実行委員会補助金
- 水環境の保全と上下水道の整備
 - 900万円 浄化槽設置整備事業補助金(10基)
 - 368万円 浄化槽排水管敷設事業
- 環境衛生の充実
 - 1億1,947万円 西部環境衛生組合負担金
- 道路網の整備
 - 1億2,224万円 町道改良、町道補修事業
 - 513万円 橋梁点検調査事業

■保健・医療・福祉が一体となった元気なまちづくり

- 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
 - 1,855万円 各種検診事業(特定健診、各種がん検診等)
 - 988万円 各種予防接種事業
- 安心して子どもを産み育てられるまちづくり
 - 7,307万円 子ども手当支給事業
 - 454万円 妊産婦・乳幼児健診事業
 - 1,040万円 中学卒業までの医療費無料化事業
 - 327万円 安心こども基金事業(婚活・文庫整備・食育等)
- 高齢者・障がい者福祉の充実と元気づくりの推進
 - 180万円 介護保険事業計画及び高齢者福祉計画策定事業
 - 3,720万円 小規模多機能型居宅介護施設整備等補助事業
- 安心できる暮らしづくり
 - 1億3,530万円 南会津広域市町村圏組合消防費負担金
 - 2,969万円 非常備消防費(消防団経費)
 - 416万円 消防防災施設・機材等整備事業

■新たな産業と循環型社会を構築するまちづくり

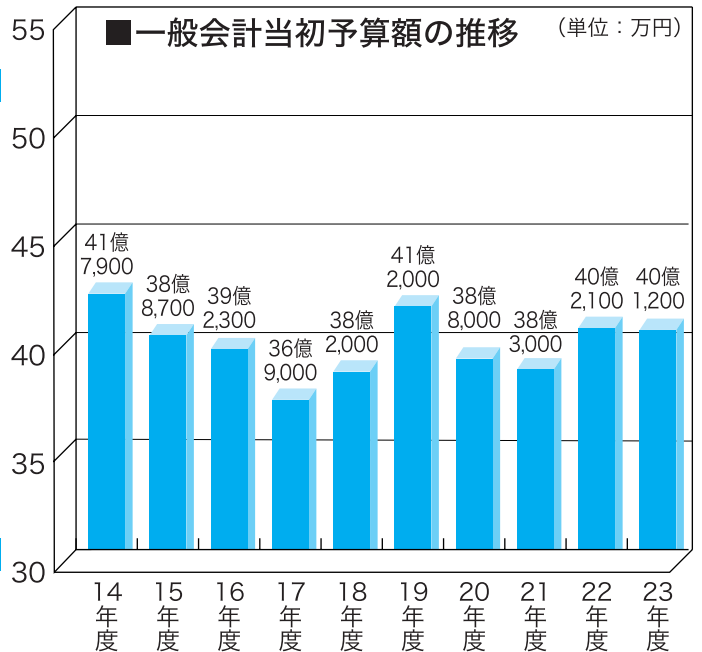
- 誇りが持てる農業の振興
 - 2,093万円 中山間地等直接支払事業補助金
 - 429万円 産地生産力強化総合支援事業
 - 970万円 農業振興プロジェクト事業
- 豊かな森林を活かした林業の振興
 - 608万円 緊急雇用創出基金事業(林道補修)
 - 897万円 森林整備加速化・林業再生事業(作業道整備)
- 特色を活かした魅力ある観光の振興
 - 2,146万円 蒲生岳登山口駐車場整備事業
 - 857万円 自然首都・只見認知度向上事業
 - 2,010万円 プナセンター(プナと川のミュージアム)運営事業
- 産業間連携と産業おこしの推進
 - 1,000万円 コミュニティビジネスモデル支援事業

■教育、文化を大切にすまちづくり

- 広い視野を持ち地域を理解する人づくり
 - 213万円 只見学推進、地域人材育成事業
- 地域文化の振興(人の技・物・食の伝承)
 - 2,069万円 七十苅遺跡発掘調査事業
 - 289万円 歴史資料・民俗文化財整理活用事業
 - 136万円 国重要文化財建造物(成法寺)保存修理補助事業
- 次世代を担う子どもたちの教育の充実
 - 232万円 小・中学校学力向上事業
 - 1,174万円 只見高校振興対策補助金

お金はどこから来て
どこへ行くの?

これだ



一般会計 予算総額 40億

■町税の内訳

町民税	1億2,885万7千円
固定資産税	7億5,239万2千円
軽自動車税	1,027万7千円
町たばこ税	2,035万0千円
入湯税	431万1千円

町民一人あたりにすると(3月1日現在人口)……5,041人
 ■一般会計支出額(使われるお金の額) ……795,874円
 ■町税負担額(納めていただくお金の額) ……181,747円

■特別会計予算

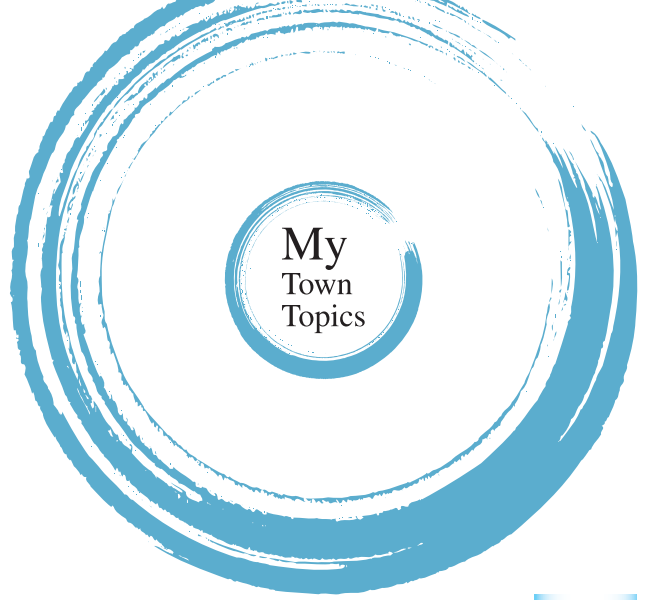
(単位:千円)

会計区分	23年度	22年度	増減率
国民健康保険事業特別会計	586,000	575,000	1.9%
国民健康保険施設特別会計	408,000	398,000	2.5%
老人保健特別会計	廃止	1,000	皆減
後期高齢者医療特別会計	124,000	120,000	3.3%
介護保険事業特別会計	524,000	545,000	-3.9%
介護老人保健施設特別会計	243,000	233,000	4.3%
訪問看護ステーション特別会計	22,000	22,000	0.0%
地域包括支援センター特別会計	10,000	10,000	0.0%
簡易水道特別会計	197,000	126,000	56.3%
観光施設事業特別会計	32,000	36,000	-11.1%
交流施設特別会計	38,000	51,000	-25.5%
集落排水事業特別会計	281,000	270,000	4.1%
朝日財産区特別会計	10,600	12,800	-17.2%
合計	2,475,600	2,399,800	3.2%

自然首都
只見

フォトコンテスト 雪国結果

Result of Photo Contest



只見町長賞

「今昔物語」

折笠 一さん(いわき市)



アイエスアイ工業(株) 社長賞

「神々の峰」

鈴木健司さん
(只見)



審査員特別賞

「雪の初詣」

吉津邦弘さん
(長浜)

冬の自然風景・郷土文化部門



只見町長賞

「2011雪まつりクライマックス」

山崎篤口さん(福島市)



アイエスアイ工業(株) 社長賞

「二年の安全を願う」

寺山和枝さん
(千葉県柏市)



審査員特別賞

「厄男」

田村まきさん
(福井)

只見ふるさと冬の雪まつり部門

第39回

只見ふるさとの雪まつり

三二雪像
コンテストの
結果は…

石伏区雪像をつくる会

5年連続 最優秀賞!



最優秀賞



「うさぎの読み聞かせ」
石伏区雪像をつくる会



「うさぎの遊園地」
こぶし苑雪像作るぞ隊

優秀賞



「うさぎのダンス」
館ノ川集落活性化委員会

グッドデザイン賞



「インド人もびっくり!!
ガネーシャ」
只見町商工会

グッドテクニック賞



「七人の小びと」
只見沖組&東邦銀行

グッドキャラクター賞



「うさぎ」
梁取憲一さん(小林)

グッドアイデア賞

広報ただみ診療所

朝日診療所 所長 星野弘尊

「朝日診療所の取り組み」

先月は未曾有の大地震が発生し、多くの方が犠牲になりました。犠牲になった方の冥福をお祈りします。またその影響で診療所も町民にご不便をおかけしましたが、皆様のご協力のおかげで、なんとか持ちこたえることができたと思っております。ありがとうございます。ございました。

今年度は佐竹先生、高柳先生の異動があり、大きな変化の年となります。はじめのうちは町民にご迷惑をかけることもあるかと思えます。その時は、診療所を温かく見守り、育てていくようなつもりで、様々なことをご教授ください。

まずは、これまでの診療所の取り組みについてご紹介したいと思えます。なぜ今、これまでの診療所のことを知っていたら良かったか。それは、より診療所を身近なものに感じていただきたという思い、また、これまでの取り組みも、これからの取り組みも町民のご協力がなくては困難であると考え、そして、医療を受け

るといふ受け身の立場ではなく、町民が地域医療に参加していくことが、よりよい医療の第一歩となると信じているからです。

南会津郡は神奈川県に匹敵する面積を有します。南会津郡の医師数は人口10万人あたり約99人(全国平均213人)であり、さらに只見町は、人口10万人あたり60人という全国の3分の1以下の医師数です。その限られた医師数でよりよい地域医療を行うべく取り組んできました。

診療体制では、できるだけ待ち時間を減らすよう予約制としています。予約なしの急病で受診された方も1人の医師が検査の合間を縫って、診察に当たりました。また、これまででなかった午後の診察を行ってきました。そのためか、また町民の意識の変化のためか、夜間の救急患者が減っている印象です。ありがとうございます。19床のベッドは急病の方が入院できるよう努力しています。それはある面では、

患者、家族の不安もあり、冷たいようでもあります。しかし、診療所が満床で入院ができない状態となれば、田島や会津若松まで搬送しなければならなくなることを考えると、町での診療所の役割を考えた上での苦渋の選択と理解いただけたと思います。ご存知のように入院、福祉の施設の少ないこの町では、なんとかいろいろなサービスを利用して、在宅介護を行っていくより他に方法がありません。少ない医療資源、社会資源を有効に利用していくために町民のご協力が大切です。もちろん診療所としても在宅介護支援センターや訪問看護と密接に連携し、訪問診療も積極的に、在宅介護を支えていく所存です。よろしくお願いいたします。

保健福祉課との連携も重視しています。以前も広報でお伝えしたように、やはり「健康」とは「未病」の段階を維持することが大切です。そのため「予防医学」を行っています。保健師と連携し、予防接種、健康診査、講演会、住民座談会などを行ってきました。町民が病気の知識を増やすことで、どのような健康を維持するかを理解できると思います。診療所では24時間の救急車

の受け入れを行っています。診療所で行うことは限られていますが、診療所で受け入れを行わなければ、南会津病院へ1時間の搬送、重傷では何の処置もなく会津若松まで2時間の搬送がなされることになり、その間に命を落とす可能性も否定できません。診療所で迅速に診断、初期治療を行い、重傷な患者は速やかに2次医療機関、3次医療機関へ搬送することが診療所の役割と考えています。只見町内の救急出動の9割以上は診療所で受け入れていきます。そのため看護師はBLSという救急初期治療を学び、救急治療の心構えができました。また只見の救急隊は診療所で研修を行い、診療所との連携を強めています。医師が常に救急隊と連絡が取れるよう携帯電話を携帯し、ホットラインを結んでいます。心肺停止など現場での治療が重要な救急出動では、可能な限り救急車に同乗し、現場での治療を行い、一人でも多くの町民を救うべく活動中です。

診療所内での活動では、感染対策委員会などの各種委員会を行い、診療所内の管理と運営の強化を行いました。学生や研修医などの受け入れを行い、未来の医師、初期研修医に地域医療の魅力を伝えてきました。将来、只見へ来る医師が育つことを祈りつつ。学生、研修医を受け入れることは我々にとっても、勉強になり、また医療がきちんと行われているかどうか外部から目を向けられることにもなり、身が引き締まる思いです。町民の方々にも多大なご協力を賜っております。ありがとうございます。

このように、医療、介護、福祉、消防が連携して地域医療を行っています。その連携により良い医療が行えるものと思えます。繰り返しになりますが、町民が医療を受けるという受け身の意識でなく、積極的に地域医療に参加するという意識をもつことで、医療はもつともつと良くなっていきます。

これまで佐竹所長のもと築き上げた医療体制を維持、発展させて、さらに町民一人一人に寄り添った医療を目指していきたいと思えます。そのためには行政や町民のご協力が不可欠です。町全体で地域医療を作り上げていきましょう。よろしくお願い申し上げます。

町史

とっておきの話

201

長岡・河井継之助記念館友の会会員
高梁方谷会会員

小名 泰 裕

西の坂龍、東の蒼龍



龍馬脱藩の道(檜原街道)、現在は遊歩道として整備されている

「坂龍」こと坂本龍馬の名前が空港名までになっているのをご存知ですか。高知空港が、今では高知龍馬空港という名称になっています。大阪空港から龍馬空港までは、一時間足らずです。しかし、私が学生時代、大阪から高知に行ったときには、瀬戸内海を連絡船で渡り一日かかりでした。時期は三月下旬ごろです。龍馬(銅像)が立つ桂浜は初夏を想わせる気候でした。

一昨年、大阪の「蒼龍窟」のファンが塩沢の河井継之助墓前祭に出席したいが、どういうルートで只見に行こうかを迷っていたのを思い出します。大阪からだと距離的には北陸方面経由の方が近いのですが、結局、一旦東京へ出て、レンタカーで関越道・小出から只見に向かわれ

ました。飛行機を使っても新潟空港に降りて会津若松経由で向かうので、一日かかります。只見は、今でも関西からは遠いのです。私が住んでいた大阪には、司馬遼太郎記念館があります。その記念館の主催で『龍馬脱藩の道・檜原街道ツアー』がありました。檜原街道は、高知から瀬戸内へ向かう峠道です。土佐藩を脱藩して檜原街道を歩く龍馬にとって、峠の向こうに希望が満ちています。ツアーに参加した老若男女は、「自分も龍馬のようになりたい」と話しながら歩く姿は楽しく明るいのです。

数年前、河井継之助ファンの集まりである「蒼龍窟が行くメンバー」で、八十里越古道をわずかですが歩きました。龍馬ファンが脱藩の道・檜原街道を歩きたいのと同様に、河井継之助ファンは、一度は八十里越を歩きたいのです。しかし、龍馬の希望に満ちた檜原街道とは違い、河井継之助にとって八十里越は絶望しかない峠道なのです。継之助ファンが、いざ、八十里越を歩くと言わずに、「この道を河井継之助が担架で運ばれたのですね」と言い、話が途切れるのです。

しかし、龍馬が持つことをで

きなかった時間を、継之助は得ました。坂本龍馬は、京都の醬油屋である近江屋で突然、刺客に襲われます。即死に近い状況で絶命したのです。反面、河井継之助は、ここ只見で十二日間も自分の死と向かいあう時間を与えられました。その時間は、身体的にも精神的にも苦痛だったに違いありません。それでも、自分の一生についての意味を考える時間が持てたのです。両者の死に場所も対称的です。龍馬は京都の大都会であり、継之助は片田舎の只見なのです。

坂本龍馬にも記念館があります。太平洋を見つめる龍馬の銅像が立つ桂浜のほとりに、坂本龍馬記念館があります。高知県立の立派な記念館です。河井ファンから見れば、羨ましい限りです。しかし、只見の河井継之助記念館は、町立で決して大きくはありませんが、自慢できるものがあります。それは、河井継之助が亡くなった部屋が現存していることです。龍馬といえども、遭難の地に碑が建っているだけなのです。

高知の坂本龍馬記念館は、冬でも温暖な地にあるため一年中開館しています。一方、只見の河井継之助記念館は、豪雪のため毎年十二月から四月末まで閉館してあります。継之助は、生きている間も越後の雪に苦しめられます。そして死んでもなお今だに、雪国の辛さを甘受しているのです。



只見に唯一残る「河井継之助終焉の家」

最後に、この対称的な二人、坂龍と蒼龍を作家の司馬遼太郎はどう見ていたのでしょうか。司馬さんの文を引用して終りたいと思います。

「この時代、河井継之助は新しい国家の青写真を持った唯一に近い坂本龍馬も持ちました。一人物だったのに、歴史は彼を忘れてしまっている。」

『街道をゆく40 台湾紀行』より



町民文芸

只見短歌会 二月詠草

大塚栄一 指導

古川 英子
大き枝も裂けたる琵琶の雪払ひ夫は囲ひの安易さを言ふ

渡部ゆき子

豪雪のなかを早くも渡り鳥群れ来て下げ置く凍餅荒す

吉津 政枝

鹿兒島の新燃岳の噴火では再度避難の老の身思ふ

馬場 八智

高齢者多き集落に救急車今日も骨折の老を乗せ行く

五十嵐英子

雪まつり施設の人に付添はれ巡る会場賑はひてをり

五十嵐夏美

大雪に六地藏尊埋もれしを新聞配りの片手で拝む

目黒 富子

会場に世界蘭展の花見れば知人の如く皆が頷く

皆川 恒子

亡き義母の手順のままに寒飴を作りて予約の客を持て成す

渡部ヨリ子

この春は還暦とわが言はれしも実感できず時早く過ぐ

新国 洋子

退院後手摺をたより階段を上る夫のあと娘付きゆく

(出 詠 順)

只見俳句会 三月例会

目黒十一 指導

礼

雪の壁抉り灯せり絵蠟燭
雛段の裾の木目込み鐘燵様

荒れし風春一番と変わりし夜
谷川の岩に砕ける雪解水

修 一

軒下より飛び出す朝の寒雀
スコップを仕舞うや吹けり春一番

余震なほ今宵ゆかしい春の月
鎮まりし地割れの道へ春の雨

邦 男

人を待つ椅子の並びや冴返る
水口の神の祠や露の臺

ボタン一ツ付けて居座わる春炬燵
よく遊ぶ子等よく笑い日脚伸び

吉 児

金色に覆る雪野かがやけり
味爽や一村つつむ雪ねぶり

水美味しく声弾みくる春日和
氷りつく星からからと飛び行けり

恒 夫

春寒やサインボールの灯ゆるる
震度九東日本春の凍

受験日やこっそり供ふ洗米
商品は千支の置物春兆す

隆 堂

山明けて肌黒々と雪崩跡
春眠やノートパソコン半開き

朱の色の鐘撞堂や寒明くる
櫓あそび社の坂をすべり降り

邦 夫

おとなしく降り夜明けの春の雨
老体のペースに適う春の雪

敦 子

一 穂

洋 子

康 女

笑 羊

リウコ

● 今月の
お知らせ

只見町選挙管理委員会
新委員長に吉津五郎氏



▲ 新委員長の吉津氏

3月2日に開かれた只見町選挙管理委員会において委員長選挙が行われ、新たに「吉津五郎氏」が委員長に選任されました。任期は平成23年3月2日から平成24年12月25日までです。
なお、前委員長の「角田定平氏」は同委員会の委員に10年1カ月在職され、その間2年1カ月委員長を務められました。長い間ご苦労さまでした。

悪質商法にご注意ください!

震災に関連した便乗商法や保証金詐欺などの悪質商法の被害が発生しています。

※ 今回、実際に発生した事例

- 見知らぬ業者が訪れ「地震で瓦が落ちているので修理が必要だ。すぐに屋根の修理工事をした方がよい」と強引に勧誘され、契約したが解約したい。
- 大きな余震があった後、「地震関連情報」とのタイトルのメールが届いた。クリックしたら、出会い系サイトに登録され、法外な金額を請求された。

※ 阪神淡路大震災の際にみられた悪質商法の事例

- 「当面の生活費などを貸し出すので返済保証金を入金してくれ」と保証金名目で入金させるが、貸し出しは実行されない。
- 「当社と被災家屋の修理契約をすれば、行政から補助金が出る」などと虚偽の勧誘を行い、壊れた住宅の屋根や壁の修理契約を勧誘する。

少しでも不審に思う場合は、すぐに契約をせずに、下記へご相談ください。

◆ 震災に関連する悪質商法110番

0120-214-888

独立行政法人国民生活センターに相談窓口を開設しました。
開設日時：毎日10時～16時（土日祝日含む）
対象地域：岩手県、宮城県、福島県

◆ 消費者ホットライン0570-064-370

身近な自治体の消費生活相談窓口をご案内しています。
※震災により一部自治体では窓口が閉所しているところがあります。

消費者庁・国民生活センター
（問い合わせ先）消費者庁 03-3507-8800

電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
	☎82-5210
企画班	☎82-5220
町民生活課	
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎84-2221 ☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

税
今月の納期

- 4月25日までに納めましょう
- 固定資産税(1期)
- 農集排使用料(4月分)

固定資産税に関する 帳簿の縦覧

平成23年度固定資産税に係る土地及び家屋価格等帳簿の縦覧を次により行います。縦覧を希望される方はおいでください。

●期間（土、日を除く）

4月1日（金）～
4月25日（月）

●時間

午前8時30分～午後5時15分

●場所

▽町民生活課税務班

☎ 82-5110

▽朝日地区センター

☎ 84-2111

▽明和地区センター

☎ 86-2111

※縦覧の対象者は、只見町内の

土地又は家屋に対して課する

固定資産税の納税義務者または

その代理人のみとなります

が、代理人が縦覧される場合

は、納税義務者本人の委任状

が必要となります。詳しくは、

お問い合わせください。

▼問い合わせ

町民生活課税務班
☎ 0241-82-5110

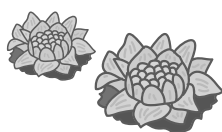
町職員の新規採用・退職

●新規採用町職員（4月1日付）

朝日診療所（兼）介護老人保健施設
医師（福島医大から派遣予定）
朝日診療所 医師 湯田 孝之
朝日診療所 医師（福島医大から派遣予定）
産業振興課農林企画室（福島県派遣）
室長 伊藤 裕幸
保健福祉課保健班（兼）介護老人保健施設
医療技術員 菊地 梓之
保健福祉課保健班（兼）介護老人保健施設
医療技術員 飯島小百合

●退職町職員（3月31日付）

佐竹 秀一（朝日診療所）
高柳 宏史（朝日診療所）
亘 光純（環境整備課）
渡部 和子（朝日診療所）
目黒 昌廣（環境整備課）



公共料金

（電気・上下水道・電話）

に関する特例措置のご案内

平成23年東北地方太平洋沖地震により災害救助法が適用された地域においては、各電気会社・水道担当課・下水道担当課・NTT東日本・携帯各社により、特別措置が講じられ、料金支払期限の延伸や免除等が受けられる場合があります。

詳細については、次の各会社の連絡先でご確認ください。

（なお、東北電力及びNTT東日本、携帯各社の措置に関しては、それぞれの社のホームページで公表されています。）

■東北電力 コールセンター

0120-175-466

■水道・下水道 只見町役場環境整備課

0241-82-5280

■NTT東日本 料金お問い合わせ受付センター

0120-032-277

■NTTDocomo 問い合わせ窓口

0120-800-000

■KDDI（au） 問い合わせ窓口

0077-7-111

■ソフトバンクモバイル お客様センター

0800-919-0157

（注）なお、NHKについては、NHKが調査を行い、免除措置等を決定することになっています。

町長室日誌

〈3月分〉

- 1日 只見高等学校卒業証書授与式、只見町土地改良区理事会及び総代会
- 2日 奥会津五町村活性化協議会予算総会、只見川電源流域振興協議会
- 3日 庁議
- 4日 J R福島支店へ要望活動
- 5日 町教育委員会芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞及び町民文芸コンクール表彰式、只見コミュニティクラブ及びスノースポーツフェスティバル招待選手との懇親会
- 6日 歳時記の郷奥会津ブランドフェア
- 7日 観光まちづくり協会理事会
- 8日 只見町議会3月会議開会（～17日）
- 9日 只見町議会全員協議会
- 11日 只見中学校卒業証書授与式、臨時庁議
- 15日 臨時庁議、東北関東大震災対策本部会
- 16日 東北関東大震災対策本部会
- 17日 東北関東大震災対策本部会
- 18日 東北関東大震災対策本部会
- 19日 東北関東大震災対策本部会
- 20日 東北関東大震災対策本部会
- 22日 東北関東大震災対策本部会
- 23日 町立小学校卒業証書授与式、東北関東大震災対策本部会
- 24日 東北関東大震災情報共有会議、同対策本部会
- 25日 東北関東大震災対策本部会
- 28日 社会福祉法人南会津会評議員会及び理事会
- 29日 只見町議会全員協議会、南会津地方町村長会
- 30日 臨時庁議兼東北関東大震災対策本部会
- 31日 南会津広域消防本部退職職員離任式、役場退職職員離任式

町民の消息

(3月1日～3月31日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

菊地 煌 (きら)
(男/伸・綾) 梁取

■ご結婚おめでとうございます

黒谷 渡部茂孝♥会津若松市 齋藤美香
長浜 星野弘尊♥福井 渡部幸

■おくやみ申し上げます

三瓶 一雄	88	黒谷
酒井 フサイ	89	塩沢
三瓶 孝正	79	叶津
大塚 コナミ	87	只見
大松 井キヨ	83	長浜
目黒 ノブエ	88	熊倉
鈴木 木悟	80	只見
本名 泰一	84	黒谷

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成23年3月1日現在

人口	4,908 (-4)
男	2,332 (-5)
女	2,576 (+1)
世帯数	1,863 (+1)
高齢化率	41.4%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 6 転出 4 出生 2 死亡 8

▽3月11日、歴史に残る国内最大級の地震が発生し、その揺れと大津波などで県内浜通りの市町村では壊滅的な被害を受け、多くの尊い命が亡くなりました。この震災で亡くなられた皆様のご冥福をお祈りいたします。また、被災され避難されている多くの皆様にお見舞い申し上げます。▽当町でも震災対策本部を設置し、炊き出しや生活物資のご提供など様々な支援活動を行なってまいりました。多大なご協力をいただきました町民の皆様、本当にありがとうございます。感謝申し上げます。

あとがき

まちづくり推進員
若林 奈津子

朝日地区センター
図書室 ☎84-2059

おすすめ新着図書

★麒麟の翼



東野圭吾／著 (講談社)
賀川恭一郎シリーズ最新刊。著者自身もシリーズ最高傑作と語るこの作品は、著者の作家活動の25周年を記念して、今後「真夏の方程式」「マスカレード・ホテル」と発行される三作品の第一弾です。長編小説を楽しんでみませんか？

★電子レンジおかずBest207



主婦の友社／編
(株式会社主婦の友社)

短時間でパッと作れて、しかも油をあまり使わないからヘルシーといいことづくめの電子レンジ調理。蒸す、煮るはもちろん、揚げ物、いため物は大幅カロリーダウン、和洋中の人気のおかずも大得意。一人分のおかず、下ごしらえ、お弁当など電子レンジをフル活用して、らくちんでおいしくヘルシーな食生活を。

★なかよし3びき ポケモンたびにつき



カサハラチュウ／著
(小学館)

ピカチュウ、ポッチャマ、チエリンボが旅に出発！
海へ！ 山へ！ 大空へ！
笑って、泣いて、けんかして！
なかよし3匹が、旅で見つけた素敵なものは・・・。

★現在、朝日地区センターは、東北関東大震災の避難所となっており、終日一般開放しておりません。図書室の本の貸し出し・返却については、事務室においてください。また、長期で地区センターの本を借りている方は、お早めに返却いただけますようよろしくお願いいたします。



- 1、 ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、 互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、 きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

フクジュソウ

キンポウゲ科/福寿草

雪が消えはじめると、いち早く黄色い花を咲かせます。夜や曇りのときは花を閉じ、晴れると開花します。太陽の動きにあわせて、パラボラアンテナのように花の向きを変えます。これは、花の中心に日光を集めて、その熱で虫を誘って受粉しようという戦略です。伊南川や黒谷川の岸辺に花畑が広がっています。



写真/高原豊さん

お知らせ

○ただみ・ブナと川のミュージアムは、地震の影響によりただいま休館しております。再オープンは4月23日(土)の予定です。

問い合わせ

○只見町プラセンター TEL0241-72-8355
○只見町産業振興課交流推進班 TEL0241-82-5240

※この広報紙は再生紙を使用しています

イベントカレンダー

4月

●20日(水)

「会津只見考古館オープン」

●24日(日)

「要害山トレッキング」

●下旬

「河井継之助記念館オープン」

「歳時記会館オープン」

「Jパワー只見展示館オープン」

「旧五十嵐家住宅オープン」

5月

●1日(日)

「青少年旅行村・いこいの森キャンプ場オープン」

「只見そば道場オープン」

●3~5日(祝)

「風つこ会津只見号運行(予定)」

会津若松―只見

●21・22日(土・日)

「SL会津只見10周年号運行(予定)」

会津若松―只見

▼震災の影響によりイベントの日程・内容等が変更になる場合もございます。

▼問い合わせ

一般社団法人

只見町観光まちづくり協会

TEL 0241-82-5250

営業時間 午前8時半~午後6時

(年中無休)

※環境にやさしい大豆油インキを使用しています